

ひきじだい

令和4（2022）年4月28日

皐月（5月）号

大和市立
引地台小学校
HIKIJIDAI ELEMENTARY SCHOOL



「明るい挨拶で笑顔が咲く学校」

校長 箱崎 勝美

新年度が始まり、早いもので、ひと月が過ぎ、新緑がまぶしい5月を迎えました。芽吹く青葉のように、子どもたちもすくすくと成長しております。保護者の皆様、地域の皆様には、新型コロナウイルス感染症対策に、引き続きご協力をいただき、心より感謝申し上げます。



先月、コロナ禍ではありますが、各学年の懇談会を3年ぶりに開催いたしました。多くの保護者の皆様にご参加くださり、教職員一同、励まされ、心より感謝しております。

さて、5月は「風薫る。」と言われるように、初夏の心地よい風が吹き、私達の心に清々しさを与えます。また、「目に青葉、山ほととぎす、初鰹。」と言う句がありますが、若葉の輝きに力強さを感じ、野山に聞こえるホトトギスなどの鳥たちのさえずりに安らぎを覚え、活きのいい鰹の美味しさと爽やかさをいただき、心と体のエネルギーが満たされる季節です。しかし、もう一つ、私達の心と体に元気を与える大切なものがあります。それは、挨拶です。挨拶は人と人とを結びつける「心の架け橋」の役割を果たします。声を出して挨拶することは、自分と相手を元気にすることにつながります。

先日、校内を巡視している際に、あるクラスの前を通りかかると「校長先生おはようございます。」とクラス全員の声がありました。びっくりした私も「おはようございます。」と返しましたが、その時、とても心が温かくなって嬉しくなりました。

コロナ禍の社会では、感染対策が求められますが、人と人とのつながりが希薄になってしまったのではないかと、マスクをしているために顔の表情がよくわからないので、共感力の低下が見られるのではないかなど、心配する声も聞かれます。人と人とのつながりを強め、共感力を高めるためにも、大人も子どもたちも明るく「ありがとう。」「うれしい。」「楽しい。」「感謝しています。」「すてき。」「いいね。」「がんばっているね。」などと声をかけ合っていくことが大切だと感じています。そのようなことを心がけながら、子どもたちや先生の笑顔の花がたくさん咲くような学校となるように心がけていきたいと思っております。5月もどうぞよろしくお願いいたします。

～児童支援中核教諭・教育相談について～

大和市内の小学校には、児童支援中核教諭が配置されております。主な役割は、①困っている児童への支援、②児童間のトラブルなどの指導③担任・保護者・子どもとの相談 ④関係機関との連絡・連携などです。本校では、吉川清美（よしかわきよみ）総括教諭が担当しています。また、青少年相談室より派遣される専門の相談員が、学校での相談を承っております。昨年度より引き続き、本年度も小笠原アナムカエラ相談員が担当しています。毎週火曜日、第1・3水曜日が相談日になります。児童に関する困りごとや相談がありましたら、学校へご連絡ください。（261-9552）

お知らせ

4月22日（金）より、たんぽぽ級に大野 舞羽教諭が着任しました。保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。